

学校名	小平市立小平第六小学校	実施年月日	平成17年2月14日
指導者	加藤 豊	授業コード	G-3

学年	4年	教科	国語
単元名	自分で選んで ごんぎつね		
単元の目標	登場人物の性格や行動を、叙述を基に想像しながら読む。		
単元の指導計画	<p>第1次 全文を読み、感想を書く。</p> <p>第1時 全文を通読し、初発の感想をもつ。</p> <p>第2時 あらすじをつかむ。</p> <p>第2次 場面ごとに読み進める。</p> <p>第3時 ごんぎつね新聞作りを通して、場面設定やごんの人物像を読む。</p> <p>第4時 言葉を手がかりに2場面を読む。</p> <p>第5時 言葉を手がかりに3場面を読む。</p> <p>第6時 言葉を手がかりに4, 5場面を読む。</p> <p>第7時 ごんと兵十のすれ違いを読み、ごんぎつねの感想を書く。</p>		
本時のねらい	ごんぎつね新聞作りを通して、ごんの性格を、叙述を基に想像しながら読むことができる。		

本時の学習活動の展開

導入	<p>【1】 学習のめあてを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1の場面を読んで、ごんぎつね新聞を作る。
展開	<p>【2】 第1の場面を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごんの人物像がわかるところにサイドラインをひく。 ・ デジタルコンテンツ「新美南吉記念館 ごんぎつね」を活用し、難語句を補説する。http://www.nankichi.gr.jp/index.html <p>【3】 ごんぎつね新聞を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごんのすみかについて想像する。 ・ ごんのいたずらについて考える。 <p>【4】 自分が読み取ったごんの人物像を発表する。</p>
まとめ	<p>【5】 次時の予告を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2の場面の内容を、ごんの気持ちを中心に読み取っていく。

デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	「ごんぎつね新聞」作りをすることで、第1の場面におけるごんの状況設定、人物像を、児童が主体的に読むようにする。状況設定や人物像を読む際、意味の理解が必要と思われる語句について、デジタルコンテンツを活用する。デジタルコンテンツには、語句の説明が言葉、絵、写真等で示してある。それらを見ることで、児童は状況設定や人物像をまとめる上で、イメージをつかみやすくなるものと考えた。
---------------------	---

(備考1) 枠の大きさを変更しても構いません。

(備考2) 学習活動の展開については自由フォーマットの別紙を添付しても構いません。その際はその旨を上枠に記入してください。